

ホリバタは 青少年育成に関わる 団体活動を支援します

「宇和島市青少年市民協働センター事業費補助金」シビックプライド向上の機会を通じて宇和島に「残ろう・戻ろう・関わろう」とする人を育む事業に対して補助金を交付します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

■対象事業（令和5年実施事業）

- ① 青少年が自由に集い活動する場を運営する事業
- ② 青少年の将来の可能性を拡大する事業
- ③ 青少年の地域への愛着や誇りを醸成する事業
- ④ 青少年が社会力を身につける事業
- ⑤ ①～④のいずれかの条件に当てはまり、事業に取り組む人材を育成する事業

内 対象経費の2分の1以内の額（上限100万円）

対 ホリバタの利用登録団体（随時登録可能）

申 10月31日までに相談してください。

問 青少年市民協働センター（ホリバタ）

☎49-7112

✉ u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp



Horibata
青少年市民協働センター

新たな試み



日々是 宇和島
(50)



が、参加者の皆さんに全力を尽くしていただきました。

陸揚げ後にはゴミを選別した上で、大型ゴミについては両機を活用し、運搬量の削減はもとより、排出物を次なる燃料として活用できる可能性を目の当たりにしました。

この取組みはまだまだスタート地点に立ったばかりであり、この経験をステップに、挑戦を繰り返していきたいと思えます。

三浦半島の最先端に位置する蔭淵地区は、潮の流れなどが魚類養殖や岩牡蠣、真珠の生育に適しており、且つ素晴らしい自然環境を活かしたキャンプ場や体験ツアーも行われています。その一方で、人の立ち入りが難しい海岸に目を向けると様々なゴミが打ち上げられている現実があります。このような状況を打破していこうと、日本財団や地元漁業関係者が中心となって、自治会、ボランティア団体、郵便局員有志、学生、行政などによりゴミを回収した上で、フロートやブイなど大型ゴミについては、減容機や粉砕機を活用しながら排出するという実証実験が併せて行われました。現場は船でしかアクセスできない場所であるため、車輛を横付けできる現場とは異なり困難を極めました



▲猛暑の中、懸命に作業する様子